



# 関町小通信

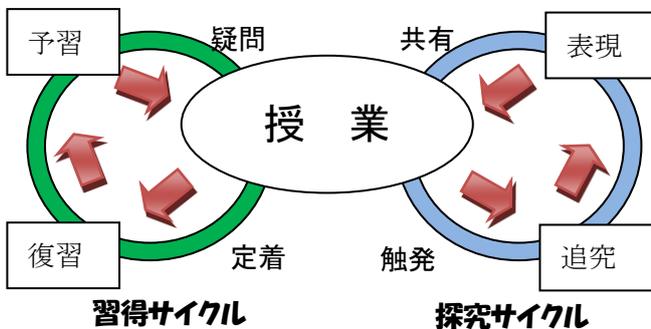
平成28年9月30日  
練馬区立関町小学校  
学校だより 10月号

学力向上には、「学校」と「家庭」、双方の教育力UPが必要不可欠です

校長 福岡 勤

一日延期して挙行いたしました開校60周年記念運動会には、多数の保護者・地域の皆様に御来校いただきありがとうございました。雨続きで、運動会に向けての外の練習が思うようにできなかったのですが、子供たちは限られた時間で本当によく頑張りました。学校は、息継ぐ暇なく、約一月後に迫る開校60周年記念集会、記念式典・祝賀会に向けて本格的に動き始めました。

さて、日本に限らず、現在の知識基盤社会、ポスト近代社会、グローバル社会を生きる子供たちは、すぐに陳腐化する知識やスキルを身に付けるだけでは生き抜くことができず、イノベーションを起こす力を獲得することができないとされています。現在、国際基準の能力としては、「生きる力」、「キー・コンピテンシー」などと呼ばれる力（「自律的に他者と関わりながら、習得した知識・技能を道具的に活用してイノベーションを起こせる力」）が代表です。そのためには、下図の左にある「習得サイクル」に加え、右側の「探究サイクル」による教育が必要不可欠であると考え、本校でも意図的・計画的に取り組んでいます。



中教審特別部会 配付資料1-1(市川伸一教授)より

「習得サイクル」にある復習、予習は、お子さんが帰宅後に家庭で行っていただく必要があるも

ので、御協力をお願い申し上げます。

また、各種調査や研究から、次に紹介する「家庭教育力」と子供の「学力」とは強い相関関係があることが明らかになっております（総合学力研究会調べ）。紙面の関係で家庭教育力に関する設問の一部の項目の御紹介に止まりますが、いくつか項目に☑がつくか御確認いただき、学校と御家庭の教育力双方の教育力UPにより、お子さんの学力をさらに高めていきたいと考えております。

- 子供のテレビを見る時間やゲームをする時間を制限している。
- 子供に早寝早起きなど、規則正しい生活をするように言っている。
- 子供に他の人に迷惑がかかることをしないように言っている。
- 子供から将来の夢や希望について話を聞いている。
- 興味・関心があることを自分で調べたり、勉強したりするように子供にすすめている。
- 学校通信・学年通信などは、いつも目を通すようにしている。
- 授業参観・学校公開等には、いつも参加するようにしている。
- 地域の行事や活動に、できるだけ子供と参加するようにしている。
- 子供と一緒に本を読んだり、読んだ本の感想を話し合ったりしている。
- 新聞に書かれていることについて、子供とよく話している。
- 子供と一緒に美術館や博物館に行く。
- 教育に関する講演会などには、できるだけ参加するようにしている。